PASAT｜実施原理と準備

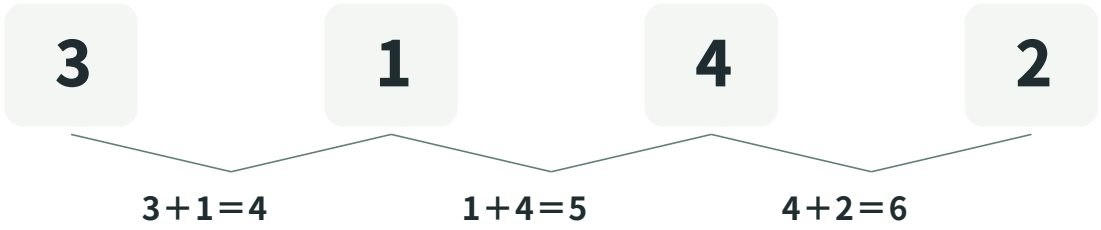
公式CAT／CAT-Rの音源・マニュアル・用紙と併用する編集資料

Paced Auditory Serial Addition Test：一定間隔で聞こえる数字について、直前の数字と新しい数字を足し、本人が口頭で答える遂行検査です。自己記入式・家族の代理回答式ではありません。

01　何を調べるか

聴覚情報を保ち、更新しながら処理する力を評価します。注意・ワーキングメモリ・処理速度・計算・言語出力が関与し、低成績だけで原因や病変部位、生活の安全性は確定できません。

02　課題原理の説明図（独自例・標準刺激ではない）



聞く数字：3 → 1 → 4 → 2 ／ 答える和：4 → 5 → 6。最初の数字は保持します。前に答えた「4」に次の「4」を足す課題ではありません。この図を本検査中に見せたり、正式練習の代用にしたりしません。

03　準備 → 練習 → 本試行

準備：使用版・日本語音源・指定トラック・再生機器・公式記録用紙・筆記具を確認。静かな場所と安定した座位を整え、聴取、言語理解、発話、計算の基礎、疲労を確認します。補聴器等の条件を記録します。

練習：正式マニュアルの教示・練習課題・練習回数・移行基準に従います。本人が隣り合う数字の加算を理解しているか確認します。

本試行：標準音源を指定条件で再生。評価者が反応を記録します。任意の一時停止・速度変更・数字の再提示・計算のヒントで標準条件を変えないでください。変更した場合は内容と理由を残します。

版の区別：国内CAT系は2秒・1秒条件。MSFCの3秒・2秒条件とは別の手続きです。MSFCの練習・自己修正・中止規則をCAT-Rへ流用しません。

出典・版・未収録部分

正式版：CAT-R・CAS（2022）／日本高次脳機能学会・新興医学出版社。
公式入手先：https://www.higherbrain.or.jp/publication/test/cats/
加藤ほか（2006）：doi:10.2496/hbfr.26.310 ／ Gronwall（1977）：
doi:10.2466/pms.1977.44.2.367 ／ 小山・安本（2011）：認知リハ16(1),45-54.
Rogers & Fox（2012）：doi:10.2478/v10053-008-0123-z

標準音源・数字列・正答列、正式教示全文、年齢別基準表は未収録。転載・翻訳・Web再配布の許諾は未確認です。公式資料を併用してください。文章・原理図・記録欄は独自編集であり、公式日本語用紙の転載・全文翻訳ではありません。

PASAT｜2秒条件の反応・採点記録

公式CAT／CAT-Rの音源・マニュアル・用紙と併用する編集資料

対象者ID：_____　評価日：_____　評価者：_____

使用版・音源／トラック：_____

実施時刻：_____　練習回数：_____　補聴器・実施条件：_____

以下は編集上の追加記録欄です。正式用紙の正答列・試行番号に対応させて使用します。反応を記入し、正誤は正式基準で判定。無反応は「無反応」と記載します。

No.	本人の反応	正誤	No.	本人の反応	正誤	No.	本人の反応	正誤
1			21			41		
2			22			42		
3			23			43		
4			24			44		
5			25			45		
6			26			46		
7			27			47		
8			28			48		
9			29			49		
10			30			50		
11			31			51		
12			32			52		
13			33			53		
14			34			54		
15			35			55		
16			36			56		
17			37			57		
18			38			58		
19			39			59		
20			40			60		

完遂・中止・未実施・判定保留（該当状態を記載）：_____

完遂時の正答数：_____／60　正答率：_____%（正答数÷60×100）

中止位置・理由／自己修正・遅延反応など：_____

中止分を誤答で埋めず、回答数だけを分母にしません。自己修正・時間境界・中止時の正式な扱いは使用版マニュアルに照合し、未確認の総成績を確定しません。

PASAT｜1秒条件の反応・採点記録

公式CAT／CAT-Rの音源・マニュアル・用紙と併用する編集資料

対象者ID：_____　評価日：_____　評価者：_____

使用版・音源／トラック：_____

実施時刻：_____　練習回数：_____　補聴器・実施条件：_____

以下は編集上の追加記録欄です。正式用紙の正答列・試行番号に対応させて使用します。反応を記入し、正誤は正式基準で判定。無反応は「無反応」と記載します。

No.	本人の反応	正誤	No.	本人の反応	正誤	No.	本人の反応	正誤
1			21			41		
2			22			42		
3			23			43		
4			24			44		
5			25			45		
6			26			46		
7			27			47		
8			28			48		
9			29			49		
10			30			50		
11			31			51		
12			32			52		
13			33			53		
14			34			54		
15			35			55		
16			36			56		
17			37			57		
18			38			58		
19			39			59		
20			40			60		

完遂・中止・未実施・判定保留（該当状態を記載）：_____

完遂時の正答数：_____／60　正答率：_____%（正答数÷60×100）

中止位置・理由／自己修正・遅延反応など：_____

中止分を誤答で埋めず、回答数だけを分母にしません。自己修正・時間境界・中止時の正式な扱いは使用版マニュアルに照合し、未確認の総成績を確定しません。

PASAT｜採点の確認と経過・支援記録

公式CAT／CAT-Rの音源・マニュアル・用紙と併用する編集資料

04　採点原則と迷いやすい境目

正答：該当する隣接2数字の和に一致し、使用版の反応時間等の条件を満たす反応。条件ごとに正答数を集計します。60反応機会を完遂した場合は0〜60、正答率は0〜100%で、高いほど当該課題の成績が良好です。

誤答・無反応：正答として数えません。実際の誤答や無反応が続いた位置を残します。聞き逃した後も、本人が答えた和ではなく、音源の直前2数字を基準に照合します。

自己修正・遅れた回答：CAT-Rの公開紹介資料だけでは細則を確認できていません。使用版の基準で反応を確定します。独自の猶予時間や「最後の回答を必ず採用」などの規則を追加しません。

未実施・中止：ゼロ成績とは区別し、理由と到達位置を記録。2秒と1秒の正答数を合計して独自の総点を作りません。年齢別基準は使用版の公式プロフィールで確認します。

05　観察所見・生活への接続（独自記録欄）

聴取／理解／発話／計算／疲労・不安／逸脱条件：

生活で困る具体的場面／支援方法／次回確認する指標：

06　経過比較

前回日：_____　使用版・条件：_____　2秒：_____%　1秒：_____%
今回との差／再検査間隔／練習・訓練歴／生活での変化：

再検査での上昇には練習効果が含まれ得ます。点数だけで回復・復職・運転可否を判定せず、日常場面、他の検査、背景条件を併せて検討します。

出典と利用上の位置づけは1ページ目を参照。正式な採点細則は使用版マニュアルに照合してください。本資料単独では正式評価は完結しません。